

休日曜大祭日 第一行四〇〇〇 第二行四〇〇〇 第三行四〇〇〇 第四行四〇〇〇 第五行四〇〇〇 第六行四〇〇〇 第七行四〇〇〇 第八行四〇〇〇 第九行四〇〇〇 第十行四〇〇〇

漆畑氏の取調から

萩原若松兩氏召喚

民政俱樂部の保存登記

平町字南町に建つ石城民政村代表の前記三十二名を舉
供樂部を昨年若松美三氏外げ昨年十月縣に向つて申請
三十一名の名によつて保存
登記をなしたるに對し黨
同志から苦情を唱ひられ紛
糾中であることは當時

平検事 局の参考取

謝を受ける所あつたが今二
十日は正午から午後二時ま
で被告側の萩原美三氏外へ
美三氏が検事局の召喚取調
べを受けた其の

内容

素より詳細
でないが被告側の唱ふる所
では俱樂部の建築目的に反
する保存登記ではなく建物
に對する三千圓の火災保険
及び維持修繕の關係もある
の下郡内

同志の

會議を開き
滿場一致の決定を以て各町
自動車の爲め客を奪はれた
諸橋などを合せて少なくも
げであつて町内大店小

踏切改修の

請願採擇

平町字大工

町に於ける
平町字大工町の踏切改修が
頻繁なる交通遮断で數年來
關係部民から陸橋或は地下
道の改修方を請願されて
所で今議會にも平町外好財
平窪神谷各村連署を以て地
元代議士の應援を受け右改
修を請願せることは會て詳
報したが漸く請願分科會だ
れば萬端一致の採擇を見る
に至つたが實現までには尙
る柴山技師の後任には尙
考らるるもの多し伏見町長
係部民は此際希望貫徹のた
め更に猛運動を繼續される
筈である

柴山技師の

後任

海老島技師

平町上水道の擴張工學設計
に失態を出して引責辭職し
たる柴山技師の後任には尙
考らるるもの多し伏見町長
係部民は此際希望貫徹のた
め更に猛運動を繼續される
筈である

平町の舊二日初賣上

意想外な十萬圓突破

財況漸く好轉せる吉兆か

昨年倍で一昨年と對等

平町に於ける去る舊正月二
日の初賣は各商店共に景氣で
は四丁目の鶴屋が第一位
轉回の爲め宣傳に大馬力を
注いだ其の結果は何人にも
想像されぬ十萬圓を越え九
萬圓を越え、和久井屋外敷店
を合する約一萬圓

客を奪はれて

對策腐心

自動車の押し

平町に於ける舊正月二日の
意想外な商況は別項所報の
如くであるが當日平窪の乗
降客は定期券を合せて降車
四千三百餘乗車四千六百で
前年同期に比すれば商店の
賣れ行きと反比例に何れも
賣れ行きと反比例に何れも
賣れ行きと反比例に何れも

権利を行使した者

もあるので此點にも注目さ
れてゐる模様である

雑貨商

に於ては新
左石(さう)と讀んで頂き
たいこれは都會の萬歳であ
ります門前に門松がいかめ
しく立つて居る萬歳の鼓のぞ

俳句

萬歳

萬歳や左右に開いて松の
紋の袖が天人の羽衣の如く
鼓の音は天樂かときよなき
何れはう奥床しく見えること
のぞ

突破し

此の成績は
昨年倍額で丁度一昨年の
それと對等してゐるが斯う
した二日の初賣から見ると
方財況は漸く好轉の兆かと
云はれてゐる

八圓廿錢の

無錢飲食

平署に突出

され取調中
石城郡湯本町字表町五一居
住同郡小名濱町生立花美
好(よし)は去る十八日午後九
時頃郡内内郷村内町字金坂
料理店鷺澤よしみ方で所持
金あるが如く装ひ八圓廿
錢分を無錢飲食し平署に突
出されて取調中

第三方面青年

總會

來る二十四日
平町聚樂館で
石城郡聯合青年團の第三
部會では來る二十四日午前
九時半から平町聚樂館に於
て總會を開催の筈である

大緊縮

の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

同村に

於ける今回
の騒ぎは往々にして農會の
衝動から誘惑しやうとす
る者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ

平の人事

▲出生
平町字西町一五仲井幸吉次男孝夫
一月廿三日午前十時三十分
平町字久保町二十六徳田七三郎次
男博二月十一日午前二時

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

同村に

於ける今回
の騒ぎは往々にして農會の
衝動から誘惑しやうとす
る者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ

平の人事

▲出生
平町字西町一五仲井幸吉次男孝夫
一月廿三日午前十時三十分
平町字久保町二十六徳田七三郎次
男博二月十一日午前二時

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

同村に

於ける今回
の騒ぎは往々にして農會の
衝動から誘惑しやうとす
る者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ

平の人事

▲出生
平町字西町一五仲井幸吉次男孝夫
一月廿三日午前十時三十分
平町字久保町二十六徳田七三郎次
男博二月十一日午前二時

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

同村に

於ける今回
の騒ぎは往々にして農會の
衝動から誘惑しやうとす
る者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ

平の人事

▲出生
平町字西町一五仲井幸吉次男孝夫
一月廿三日午前十時三十分
平町字久保町二十六徳田七三郎次
男博二月十一日午前二時

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

同村に

於ける今回
の騒ぎは往々にして農會の
衝動から誘惑しやうとす
る者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ

平の人事

▲出生
平町字西町一五仲井幸吉次男孝夫
一月廿三日午前十時三十分
平町字久保町二十六徳田七三郎次
男博二月十一日午前二時

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

同村に

於ける今回
の騒ぎは往々にして農會の
衝動から誘惑しやうとす
る者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ

平の人事

▲出生
平町字西町一五仲井幸吉次男孝夫
一月廿三日午前十時三十分
平町字久保町二十六徳田七三郎次
男博二月十一日午前二時

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

同村に

於ける今回
の騒ぎは往々にして農會の
衝動から誘惑しやうとす
る者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ
する者よりも斯くされるこ

平の人事

▲出生
平町字西町一五仲井幸吉次男孝夫
一月廿三日午前十時三十分
平町字久保町二十六徳田七三郎次
男博二月十一日午前二時

無能を叫ばれてゐる

農會に非常なる衝動

上遠野村が騒いだ廢止論

惰睡の一般關係に良い藥

石城郡上遠野村は舊菊田郷
の大村で現在戸數約八百人
口四千四百を有し毎年三萬
圓に近い歳費を要してゐる
が明六年度豫算編成に際し
農村現下の疲弊から
大緊縮の必要を理
無能を叫ばれつゝある關係
一般に非常なる衝動を興へ
られてゐる

自治の意義 (五)

▲發案權

市町村會が選舉をしたり意見書を提出したりする場合は勿論市町村會自身が發案するのであるが普通の議決事項に關しては一體誰が發案するか、法律は原則として市町村長を發案者とした昭和四年の改正により歳入出豫算に關することを除くの外は市町村會にも發案権あることになつた、之れは自治權の擴充である、併し歳入出豫算に直接關係はななくとも實行する上に於て經費を伴ふことは少なくないから間接には歳入出豫算の發案權と同一の結果となる

ことが少なくない、市町村會は良く自治權擴充の目的を達成して之を濫用するが加きことなく益々自治心を喚起して自治政の向上に努めねばならぬ

○市町村の執行機關市町村の意思を決定するものは市町村會であるに對して其の決定された意志を執行する機關は市町村長である又市町村といふ公法人を外部に代表するのも市町村長である、市町村長は如斯執行機關として責任を負ふものであるが諸般の事務を取扱ふ爲に助役收入役を初め幾多の吏員を補助機關として必要とする市町村長を初めこれら一切の補助機關を總稱して公吏と稱する

○市町村長の地位、市町村長の決定

市町村長は市町村會より選舉せられるのであるが當選の告知を受けた日から廿日以内に其の當選を承諾することに依つて決定するのである

破格の勉勵で 歡迎される 静岡本場 大角園 小笠原茶 半谷商店 平大町若松病院隣

賣席品良の賣牛様客街

山澤荷入物冬

店服吳閑伊伊

スペイン G.H.N 元詰 甘味葡萄酒 ゴルフポートワイン 1.10 御婦人の方には少し水を加へて 召し上るご風味一そう佳良です (中平) 西村屋藥舖 (電川)

模範 裁縫 高島屋の洋服 平町驛前 電話三八六番



部 オーバー 五圓から 卅圓まで 二重廻し 七圓以上

注文部は各種破格の勉強

磐城 病院案内 本院は時局に鑑み、院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候

入院料 一般 金貳圓也 本院員金貳圓也

往診料 限り、一般金三圓也 本院員金二圓也

各 科 内科 小兒科 外科 皮膚泌尿科 整形外科 内臓外科 産婦人科 女子泌尿科

× 光線科 (物理學的診療科)


院長 醫學博士 難波 睦 本院主管 賀澤 忠 治

衛生試驗所 病氣相談所 救療所 本院内 相談所へ御話し下さい

看護婦 募集 磐城共濟會 (電話六四二番)

いつも生ビールが楽しめます キーな座席で氣もちよく フランス料理の献立

サロンの 平田町 電話三五三



ガソリン モビール油 日本油 株式会社 特約販賣

屋間油 店商内關 〇四六六一電話電町平城磐

支店 郡山市 驛前大通 電話三三八

支店 茨城縣 關本驛前 電話平海七三

出張所 油槽所 平町四丁目 郵便局前


驚異的の効果を有する婦人藥 座藥 美神丸 内服藥 美神湯 婦人病に悩む方々に一度は實驗を勧む

町代理店 平町五丁目 山野邊藥局


召上りせまり 安くて... うまくて... 品がよい...

カフェエー タヒラ食堂

外科、小兒科 平町、電話五一三番 外科、花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科 高久病院 院長醫學士高久忠



諸毒下しの大妙藥 安流丸 平町五丁目 山野邊藥局



入院應需 藤沼醫院 平町 電話七〇五番

外科 小兒科 梅毒 淋病 市原醫院 平町 電話一〇四番

磐城銘酒 代表 味美經濟 油醬のマヤ



山崎合名社 電話十番